

他者理解能力における児童と成人の比較

問題

- 自発的特性推論 (Spontaneous Trait Inference: STI)
人は特性を暗示する行動情報を呈示されると、意図・指示がなくても自発的に特性推論を行う(Winter & Uleman, 1984)
例: ある人が誰かにどなりつけているのを見ると、意図せず(たいてい無意識に)その人に対し「怒りっぽい人だ」という特性をラベリングする。
- ポジティブな特性とネガティブな特性では、STIの生起のしやすさは異なるか? また発達の違いはあるか?
児童を対象として実験を行う予定であったが、小学校より実験協力が得られなかったため、今回は小学校を卒業したばかりの中学1年生を対象として実験を行った。

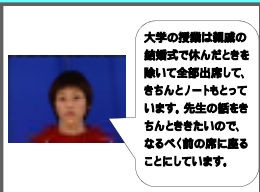
方法

- ・ 対象: 中学1年生74名(男38名, 女36名, 平均13歳10カ月), 大学生64名(男12名, 女52名, 平均19歳)
- ・ 実験計画: 年齢群(2; 中学生・大学生) × 性別(2) × 試行タイプ(2; 再学習・統制) × 特性価(2; ポジティブ・ネガティブ)
年齢群と性別は被験者間要因, 試行タイプと特性価は被験者内要因
- ・ 手続き: 再学習パラダイム(Carlston & Skowronski, 1994) を用いた。

接触フェイズ

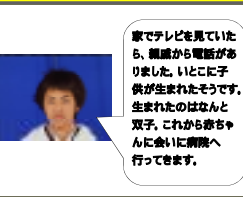
「それぞれのペアをよく見てください」

再学習試行: 10ペア (P特性・N特性各5ペア)
(顔写真 + 特性暗示記述)



STIが生起
していれば
顔 + 特性が
学習される

統制試行: 10ペア (P特性・N特性各5ペア)
(顔写真 + 中立記述)



顔 + 特性は
学習されない

遅延フェイズ1

アナグラム課題
接触フェイズとは別の人物・記述の呈示

学習フェイズ

「それぞれのペアを覚えてください」

再学習試行: 10ペア
(顔写真 + 特性語)



接触フェイズでSTIが生起していれば再学習となる

統制試行: 10ペア
(顔写真 + 特性語)



これが初学習となる

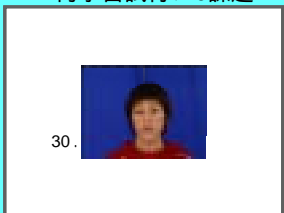
遅延フェイズ2

アナグラム課題

再生フェイズ

「顔写真とペアになっていた1語の単語を思い出してください」

再学習試行: 10課題



30.

統制試行: 10課題



26.

- ・ 従属変数: 再生フェイズにおける特性語の再生数(再生得点)
再学習試行 > 統制試行となれば, STIが生じた証拠となる

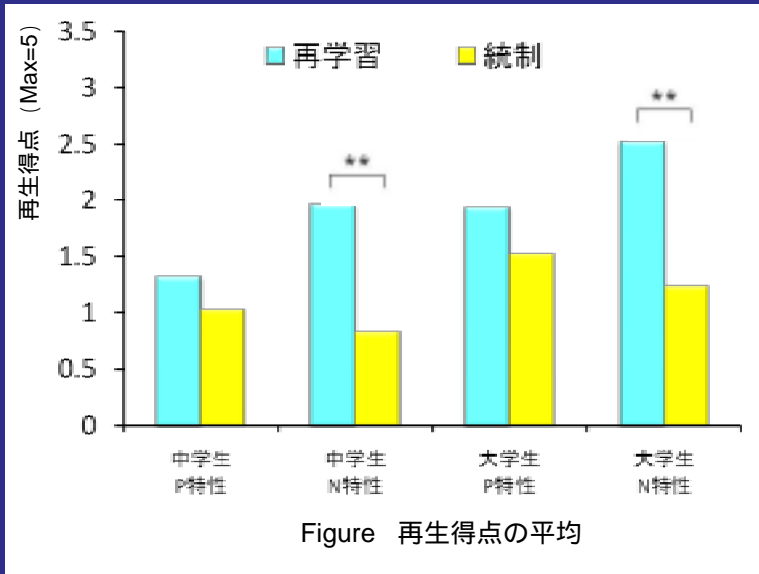
- ・ 材料(特性語): ポジティブ特性・ネガティブ特性各10語

ポジティブ特性	ネガティブ特性
やさしい	おしゃべり
えらい	いじわる
どりよくか	いいかげん
ゆうかん	わがまま
れいぎ正しい	だらしない
しょうじき	むくち
まじめ	あきっぽい
おもしろい	なまけもの
まげずらい	はずかしがりや
こうしんの強い	せつち

予備調査において、各特性の望ましさを大学生67名に評定してもらい、もっとも望ましいもの/望ましくないものから順に10特性ずつ選んだ。

再学習・統制の各試行においてP特性・N特性を5特性ずつ含めた。再学習・統制の特性語を入れ替えた2バージョンを作成し、被験者をランダムに割り当てた。

結果



- 再生得点(Figure 1)について、年齢群(2) × 性別(2) × 試行タイプ(2) × 特性価(2)の繰り返しのある分散分析

- ・ 試行の主効果($F(1,125)=37.52, p<.001$) 再学習 > 統制
- ・ 性別の主効果($F(1,125)=10.40, p<.01$) 女子 > 男子
- ・ 試行 × 性別の交互作用($F(1,125)=3.67, p<.10$)
男子・女子のいずれにおいても再学習 > 統制
ただし差分の大きさは女子 > 男子
- ・ 試行 × 特性価の交互作用($F(1,125)=21.62, p<.001$)
N特性においてのみ再学習 > 統制

考察

- STIにおける特性価による差
 - ・ ネガティブ特性においてのみSTIが見られた。
 - ・ 年齢群による差は見られなかった。性差は見られた。

人はネガティブな性格特性を持つ人を、瞬時に検出しやすい!
女性の方が他者の性格特性を瞬時に判断する能力に長けている!

- 今後の課題: 発達の変化についての詳細な検討が必要
小学生を対象とした研究を計画中。

References

- Carlston, D. E., & Skowronski, J. J. (1994). Savings in the relearning of trait information as evidence for spontaneous inference generation. *Personality and Social Psychology Bulletin*, 66, 840-856.
- Winter, L., & Uleman, J. S. (1984). When are social judgments made? Evidence for the spontaneity of trait inferences. *Journal of Personality and Social Psychology*, 47, 237-252.